

# 北陸地方開発促進計画（第四次）：日本海国土軸の形成を先導する北陸（目標年次：概ね2010～15年） 概要

＜新たな発展の基本理念・基本方向＞      ＜4つの重点課題と「参加と連携」による対応＞

北陸地方は、21世紀の我が国の新たな発展を切り拓くフロンティア

北陸地方が一体となって、北陸の個性とポテンシャルを戦略的に発揮し、日本海国土軸の形成を先導する圏域として、4つの重点課題への対応を通じ、多軸型国土構造の形成に寄与する役割を担っていく

コンパクトな地域の中に変化に富んだ豊かな自然と魅力ある都市が重層的に共存し、ゆとりと利便性をあわせ享受することができ、人々の価値観に応じて多彩な生活や就業が可能な北陸

都市の連なりと三大都市圏への近接性を生かし、連携・交流する北陸を創造

優れた住環境の下で、自然に恵まれ文化の香り高い生活圏を創造

我が国のトップクラスである居住環境をさらに向上させるとともに、コンパクトな地域である特性等を生かし、地方中核都市を含めて北陸地方一帯に重層的に多自然居住地域の創造を図りながら、多彩なライフスタイルを全国に先駆けて実現していく

活力があり、また環日本海交流を先導する世界に開かれた北陸

小さな世界企業等個性的な北陸産業の形成を促進

環日本海交流を先導し、新たな国際交流を展開する北陸を実現

連携・交流への取組の促進

連携・交流を支える交通、情報通信ネットワークの形成

都市機能の利便性を享受するための対応

豊かなライフスタイルを育む環境と福祉への対応

国土保全・防災による安全で快適な地域社会を実現するための対応

ゆとりと活力のある暮らしを実現するための対応

教育・研究開発機能の充実、産学官の連携強化

世界に輝く地域産業の創出

農林水産業の新たな展開等

環日本海交流の新たな展開など国際交流の推進

国際交流機能を加速するゲートウェイ機能の強化

- ・域内外にわたる連携・交流のポテンシャルの高さを生かし、集積の乏しい中枢管理機能、国際交流等の高次都市機能の充実を図るとともに、太平洋側の大都市圏や他の日本海沿岸地域との相互補完関係を高める。
- ・3つの地域連携軸の展開：
  - 日本の中央部を能登半島から名古屋圏へと連結する地域連携軸
  - 中部山岳地域を福井から山梨へと東西に縦貫する地域連携軸
  - 福井、滋賀、三重を結ぶ地域連携軸
- ・特に広域観光ネットワーク化を通じた地域の連携・交流を積極的に推進：
  - 飛越地域、北アルプスゴールデンルート、白山地域、若狭湾沿岸 等

- ・連携・交流の動きを踏まえ、全国的な広域的機能の一翼を担うことにも配慮しつつ、基盤を整備
  - 高規格幹線道路（東海北陸自動車道、中部縦貫自動車道、近畿自動車敦賀線、能越自動車道）の整備
  - 地域高規格道路（富山高山連絡道路、高岡環状道路、富山外郭環状道路、金沢外環状道路、金沢能登連絡道路、小松白川連絡道路、福井外環状道路等）の整備
  - 北陸新幹線の整備、在来線の機能強化の検討
  - 能登空港等の空港・港湾の整備
  - 高度な情報通信基盤の整備 等

- ・富山、金沢、福井の地方中核都市において、相互の機能分担や広域的な共同利用にも配慮しつつ、高次都市機能を強化（富山の鉄道跡地、金沢の大学移転跡地、福井駅周辺等の都市整備、公共交通機関の利用推進、等）
- ・これらの都市と一体として都市圏軸を構成する高岡、小松、敦賀等を中心とする都市圏においても、地方中核都市との連携を強めつつ、都市機能を充実・強化

- ・良好な環境形成：積極的な取組のみられるリサイクル活動の広域的な推進と石川でのリサイクル関連産業育成等
- 下水道の整備（神通川左岸等の流域下水道事業等）、閉鎖性水域の水質浄化対策、等
- ・福祉面の充実等：活発なボランティア活動等多様な主体の参加による地域福祉の総合的推進等のための環境整備
- 看護福祉面の教育・研究・研修の拠点となる石川、福井での大学整備、等

- ・急峻な地形条件や豪雪地帯であることを踏まえた、災害に強い地域づくり、克雪・利雪・親雪の取組

- ・自然に親しむ取組等：中部山岳・白山等の自然環境の保全とふれあいの場の形成
  - 九頭竜川流域の取組等の自然環境保全活動の促進
  - 地域全体での景観整備や多様な公園の体系的整備、海洋性レクリエーション拠点の形成、等

- ・歴史・文化・スポーツを楽しむための取組等：
  - 五箇山の美しい村づくりを始め、縄文集落、恐竜化石等の地域資源等を生かした地域づくり
  - 豊かな伝統文化の保全・継承と新たな芸術文化の創造に向けた取組（コンサートホール・邦楽会館の整備等）

- ・いしかわサイエンスパーク、高岡オフィスパーク等、リサーチパークの整備や産業業務支援機能の強化
- ・人材育成機能の強化、情報産業育成の推進（福井での拠点施設整備等）、等

- ・繊維産業、眼鏡産業、クラフト産業、製菓産業等の地場産業に関し、デザイン面からの強化や先進的研究成果の導入による高付加価値化・新分野への展開等
- ・福井県若狭湾エネルギー研究センターの整備等、エネルギー関連の既存集積を利用した地域の産業活性化 等

- ・九頭竜川下流地区等のかんがい排水事業等の生産基盤の整備・高質化
- ・多自然居住地域の創造と北陸の特色ある「食」や「住」といった生活文化との連携の視点からの多産業複合化 等
- ・富山湾の日本海固有冷水の活用

- ・日本海の世界環境保全のための国際協力を始め、経済・文化面での具体的な相互のニーズに基づいた継続的、面的な交流への環日本海交流の深化を加速
  - 環日本海交流を促進する学術・文化交流機能の整備・充実
  - 留学生・研修生の受け入れの大幅増加を目指した環境整備
  - 北陸地方が一体となった国際観光振興のための取組
  - 環境保全、農業等に関する国際協力の取組
  - 北東アジア地域の自治体の交流・協力のネットワーク形成による多地域間交流の推進、等

- ・伏木富山港、金沢港、敦賀港等の整備等、港湾・空港の国際交通機能の強化
- ・FAZ計画の推進（小松飛行場を拠点）
- ・隣接地域や三大都市圏等とのアクセス改善による幅広いゲートウェイとしての機能強化

（注）本資料は、計画のポイントを整理したものであり、例示等、引用に当たっては計画本文によらねたい。